



# エレクタ株式会社



- 所在地：東京都港区
- 従業員：143名
- 会社設立年：1993年
- 事業内容：医療機器及び医療用放射線治療計画装置の輸入販売・保守

<https://www.elekta.co.jp/>

## プロジェクト名

- プロジェクト SPECTRA (Sustainability Practice for Enhancing Cancer Therapy) クラウド環境を用いた放射線治療の技術改善

## 現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー：Siriraj training center
- 協力・連携の内容：エレクタ株式会社はタイのSiriraj病院とトレーニングセンター契約を結んでいる。学会や非営利法人と協力し、CloudプラットフォームによるDX技術をタイのすべての病院へ展開、放射線治療計画の技術向上や、各専門家からのフィードバックを元に技術研鑽を図る環境を構築する。



DX技術の一例、クラウドプラットフォームにより各施設がビッグデータにアクセスし、治療計画のスコアリングやレビューが可能

## 現地の経済・社会課題

- タイの人口は2019年時点で約7千万人で、毎年17万人以上ががんに罹患。上位がん診断数は1)肺がん、2)肝がん、3)乳がん、4)直腸がん、5)子宮頸がん、診断数の増加も顕著である ([WHOデータ](#))。子宮頸がんについては2020年、WHOの事務局長は声明を発表し、各国の子宮頸がんによる死亡率を1年あたり10万人に4人にする事で「子宮頸がんのない世界」を実現することを目標に掲げた。放射線治療(小線源治療)は有効な治療法の一つとされており、本件の対策が急務である。

## 実証内容

- 放射線治療計画は、患者の特定の状態や腫瘍の特性に基づく正確な放射線照射の提供のため策定される。治療計画により、腫瘍に適切な線量を与え、健康な組織の損傷を最小限に抑えることが可能である。一方、複雑な作業を要し、作業によって品質が異なる。そのため、特に放射線治療装置の導入(新規)が加速しているASEAN諸国では治療計画の標準化が急務とされている。本事業により、タイ全土の放射線治療技術者による各専門家からの治療計画技術の習得、放射線治療の標準化を目指す。

## 期待される裨益効果

- 顧客数の増加、放射線治療マーケットの拡大  
プロジェクトを通じ、より多くの病院がデジタルネットワークへ参加するにつれて、市場拡大と顧客拡大が可能。トレーニングの費用対効果の大幅向上とダウンタイム短縮により、多くの患者が治療を受けられる。